

浜田・若竹統合保育園(仮称)づくり ワークショップを開催しました！

テーマ『みんなで創る新しい保育園』



酒田市では、浜田保育園と若竹保育園を統合した新しい保育園の整備事業を実施しています。そこで、事業概要や検討中の設計内容を理解していただくと共に、新しい保育園や併設される子育て支援センターのことを考え、意見を出し合うワークショップを開催しました。



開催日：平成30年10月13日（土）

場所：酒田市役所 会議室

参加者：9名

テーマ：『みんなで創る新しい保育園』

設計業者：キャドウイング・山崎設計共同体

主な内容：・子育て支援課より事業概要の説明

・設計業者より設計内容の説明

・班別でのワークショップ

《 参加者の皆さんから出されたご意見をご紹介します 》

【ワークショップ1】 説明を聞いてみての感想や印象を言葉にしてみよう

- ・園庭を囲んで見渡せるのは開放感があって良い。
- ・酒田産の木材を多く使った建物、机、椅子は良いと思う！
- ・冬は暖かそうだが、夏は暑そうなので大丈夫か。
- ・駐車場は広くし、乗降しやすさを考えてほしい。
- ・園児のために繋がるので、保育士さんの働きやすさは大切。



- ・地域環境づくりのために防犯灯や交通規制、消火栓、緑化保全是どうあるべきか。
- ・小学生の通学路にも近く、周辺の交通混雑が心配。

- 交流の場を作るのはとても良いこと。
- 地域との交流の場としてフリーマーケットを実施してほしい。
- 特別保育と保育園との交流を考えてほしい。
- 小学生や園児以外の幼児も利用できるようにしてほしい。
- 子育て支援センター利用者も園庭や遊戯室を共有できたら良い。
- 子育て支援センターに大きな遊戯室（ホール）がほしい。



【ワークショップ2】 地域と繋がる保育園ってどんなもの？



- 地域と保育園とが話し合える場が必要と思う。
- 花見、夏祭り、芋煮会、花火大会などを地域と一緒にやる。
- 園庭の中にベンチを置いてはどうか。
- 日常的な交流で繋がっていることが大切。
子ども達も慣れるし、防犯にも繋がる面がある。

- 一人暮らしの高齢者と核家族が助け合う仕組みづくり。
- 高齢者のノウハウを生かして、ミニ菜園での野菜づくり。
- 昔あそびや昔ばなしの会を開催してはどうか。
- おじいちゃん、おばあちゃん世代が日頃から来園しやすい環境。
- 高齢者福祉施設（デイサービス等）との交流。
- 遊戯室に近所の方が遊びに来れるスペースを設け、保護者や児童との会話を促し、子育てや生活の知恵を受け渡す場にする。



- 保育園に通っていない母子に開放してほしい。
- 子育て支援センターのメニューには、他の先進事例を取り入れてはどうか。
（育児講座や親子の集い、子育て通信の発行、子育てサークルの育成支援など）
- 児童センター機能がほしい。子育て支援とは時間や曜日などを区切り、近所の小学生でも立ち寄れるようにしてほしい。

- セキュリティの確保は必要。
- 誰でも自由に入出りできることに対して、
セキュリティ面との兼ね合いが難しいと思う。



ご参加いただいた皆様、大変ありがとうございました。
頂いたご意見は、今後の事業実施の参考にさせていただきます。
お問合せなどありましたら、事務局までご連絡をお願いいたします。

酒田市 子育て支援課
こども支援係
TEL：0234-26-5735
kosodate@city.sakata.lg.jp